

平成29年度「市長のまちづくりふれあいトーク」  
でいただいたご意見等の対応状況について

【H29.10.13 柳田地区】

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
1	柳田	西条畑地かんがい	西条畑地かんがいについて 1 50年以上経っていて老朽化が激しい。更新する工事の事前調査を行っている。費用がかかるため国の助成を得ている。 28、29年度に(畑地灌漑の受益エリア内に)公共下水道が延伸された。1/3くらいは農地該当。畑地灌漑のパイプを更新し、給水する際、(今後宅地化が進むことも予想され)このままでいいのか考える必要がある。	1 西条畑地かんがいの更新に係る県からの課題として地区の営農展望については、地元の農業者と検討を行い方向性を作成しました。今後も、西条畑地かんがい土地改良区と相談しながら主体的な取り組みを支援してまいります。	農林畜産課 農業振興担当 74-8086
2	柳田	西条畑地かんがい	2 (下水道の受益エリアを農振区域に広げること)は農振法に抵触するのでは。都市開発行為である。 県(農林サイド)は(下水道の延伸と宅地化の見込みなどについて)どこまで知っているのか。事業を進める上で懸念している。	2 平成29年度から30年度にかけて、氷見市における土地利用方針を含む都市計画の基本的な整備方針を定めた都市計画マスタープランの改定作業を行っています。西条畑地かんがいエリアの土地利用方針についても、この都市計画マスタープランの中で検討して参ります。	都市計画課 都市政策担当 74-8078
3	柳田	西条畑地かんがい	3 国(農林水産省)の補助事業なので、事業採択の際に(受益エリア・面積について)県から指摘されないか心配。パイプを更新する事業ができなくなるのでは。今後、県からなにか言われた際にはぜひ支援してほしい。	3 ハード対策としては、県営事業として実施していただけるよう要望しているところであります。早期に事業採択していただきけるよう引続き要望して参ります。	ふるさと整備課 農林業基盤整備担当 30-7011
4	柳田	消防分団	市内の人口は南部地域に集中していると聞いている。消防の救急業務については、南部に出動回数が増えていると聞いている。氷見の南部地区、高岡の二上、太田、守山地区をエリアとする救急分団を作ったらどうか。	現在、高岡市との消防広域化を検討中で、それに併せて氷見市の南部地区に出張所の建設を考えております。実現すれば、火災出動は元より氷見市の救急出場のうち約3分の1を占める南部地域での出場時間の短縮が期待されます。	消防総務課 30-7112
5	柳田	消防分団	市内南部地区は、人口、世帯数共に多くなっている。消防の救急業務では、南部地区の出動回数が多いと聞いている。救急は時間との戦いである。そこで提案ですが、市内南部地区と高岡の二上・守山地区、太田地区をエリアとする救急分団の創設を、高岡市と協議し、分隊所を氷見市内におくことを模索すべきと思うが、市の考えをお聞きしたい。		

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
6	柳田	地域活性化	柳田に有名な画家が3名いる。柳田だけでなく氷見市全体に広めていきたい。教育文化センターに作品が展示されている。市としても支援してほしい。 布尾良作氏、漆工芸の武田武弘氏、日本画の湊忠行。布尾氏については、亡くなった後、今から20年ほど前に博物館で展覧会を行い、その際小境前館長が冊子を残している。	「おらっちゃん創生支援事業」の制度を活用してPRに努めていただければと思います。ご相談は地域振興課でお受けしますので、ご連絡ください。  地区でPRを行う際は、博物館などでこれまでに調査した情報等を提供させていただきますのでご相談ください。	地域振興課 地域協働担当 74-8013  博物館 74-8231
7	柳田	地域活性化	柳田出身3人の画家の高い美意識を柳田地区民だけでなく、氷見市全体に伝え残していくため画業の記録・保存をしてはどうか。そのための予算措置を市当局にぜひ検討してもらいたい。洋画の布尾良作氏、漆工芸の武田武弘氏(ともに故人)と日本画の湊忠一氏。布尾氏は、日展、光風会を中心に活動され、元県洋画連盟委員長。武田氏は、千葉で活動され、日展および現代工芸美術家協会の評議員。湊氏は、日展会友、元県日本画家連盟委員長であり、それぞれの方の功績を伝えてゆくことが必要ではないかと思いますが、市の考えをお伺いしたい。	これまでも氷見市ゆかりの方々の絵画や彫刻などの美術品で購入又は寄贈を受けたものを市民の皆様目に触れやすい教育文化センターをはじめとする公共施設に展示させていただいています。 また、博物館でも機会を捉えて郷土作家シリーズや氷見にゆかりの作家展などの特別展を開催してまいりました。 今後も様々な機会を捉えて氷見を代表する芸術家の功績を伝えていくとともに、芸術文化活動の振興に努めてまいります。 また、自治会や団体による地域活性化の取り組みとして事業を検討される場合には、市として「おらっちゃん創生支援事業」(地域振興課)で支援できるのではないかと考えていますので、ご相談ください。	教育総務課 74-8211  地域振興課 地域協働担当 74-8013
8	柳田	窪公民館	平成28年に文部科学省より優良公民館として表彰された窪公民館は、窪小学校建て替えの際、校舎の一部を移築したもので老朽化が進んでいる。当公民館は、各種の講座、公民館祭り、校下大運動会等々の数多くの事業を実施しているほか、校下社会福祉協議会の活動の拠点の場としても利用されている。校下のコミュニティの場としても欠かせない施設となっている。窪校下の人口世帯数が氷見市内で一番多いことを考慮すれば、公民館を少し大きめのものに建て替えを検討しても良い段階ではないかと思う。以前から市に陳情していたこともあったと聞いているが、実現せずに今日にいたっている。市の考えをお伺いしたい。	今後、市が持つ公共施設等の最適な配置をどうしていくかについて、計画が策定されることとなっており、その中で個別施設について管理計画が検討されることとなります。その際に、改めてご意見をいただきながら、検討してまいりたいと思います。	教育総務課 生涯学習担当 74-8211

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
9	柳田	下水道	<p>上下水道課に関連住民へ説明してもらったが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水が自然流下できない。</li> <li>・農振地域であること。</li> <li>・農振法(昭和44～)の問題がある地域。</li> </ul> <p>西条地域は砂地のいい土地。将来的に農地の維持管理については重要な問題。農地と宅地の仕分けができてないという話だったが、昭和44年以前から住まわれている方である6軒の家が下水道の設置を希望している。農振地域であることは分かるが、配慮していただきたい。</p>	<p>市道島尾柳田線までの下水道の整備については、下水道区域拡大の認可が必要であり、今年度は認可申請に向けて作業を進めています。工事は、認可された後の30年8月以降に着手予定です。</p>	<p>上下水道課 下水道施設担当 74-8081</p>
10	柳田	空き家対策	<p>空き家調査を市で行ったとのことだが、何かデータがあれば公表してほしい。環境、安全の問題から苦情が出ている空き家もある。自治会として空き家にどこまでできるのか。</p>	<p>昨年度、市内全域で空き家の老朽度等を把握するための実態調査を行いました。今後はこの調査結果を基に、適切に管理されず周辺の生活環境に悪影響をおよぼす恐れのある空き家(特定空家)の認定を行い、その所有者に対し指導・勧告等を行っていく予定です。</p> <p>空き家データの公表は、個人情報のため出来ませんが、問題のある空き家がある場合は個別に地域振興課へご相談ください。</p>	<p>地域振興課 定住促進担当 74-8190</p>
11	柳田	耕作放棄地	<p>耕作放棄地について、病虫害の発生源にもなることから、対策を検討してほしい。</p>	<p>農地パトロールを実施し、新たな耕作放棄地について、所有者へ耕作の意向を調査・確認しています。自分で耕作できない場合は、草刈り等の自己管理を行うか、利用権の設定等により耕作してもらえないか探してみるようお願いしています。</p> <p>農地法第44条に、市町村長は、農地等における病虫害の発生、土石の堆積等により、周辺地域の営農条件に著しい支障が生ずるおそれがあると認める場合には、当該農地の所有者等に対して、支障の除去、発生の防止に必要な措置を講ずべきことを命ずることができることとなっており、状況によっては措置請求をすることも考えられます。</p>	<p>農業委員会事務局 74-8096</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
12	柳田	環境対策	企業が撤退した跡地は防犯上よくなく、ごみも捨てられやすい。空き家対策と合わせて考えてほしい。	空き家対策の担当課と協力して、環境整備に努めます。	環境防犯課 環境保全担当 74-8065
13	柳田	公園	十二町潟で船に乗れるようにしてほしい。氷見にはいろいろな魅力がある。市長自らアピールしてほしい。	十二町潟水郷公園の近辺では、当時の深田での農業体験を子ども達に伝承する取り組みを行っており、収穫の際には田舟の乗船体験も行っております。	都市計画課 公園管理担当 74-8076
14	柳田	広報広聴/ 総合計画	1 市長室トークに参加したが回答が3ヶ月後きた。回答内容としてはありふれたもので、担当課長と話をつめたい。話に行っているのか。 2 総合計画で、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりはどこに書かれているのか。	1 担当課長と直接話をさせていただきたいと思います。なお、業務により、担当課長が不在にしている場合がありますので、事前にご連絡をお願いいたします。 2 今年度から始まる「第8次氷見市総合計画後期基本計画」において、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりとして、施策「豊かな長寿社会づくり」「障がい者の自立と社会参加の促進」の中で取り組んでいきます。	地域振興課 地域協働担当 74-8013  企画秘書課 政策推進担当 74-8011
15	柳田	交通安全	氷見伏木線(中仙道)に横断歩道を設置してほしい。 氷見伏木線は歩行者にはまだ優しくない道路。通学路なのに、横断歩道しかない。横断歩道があっても小学校低学年の子どもにとっては車が多いと立ち往生してしまう。できれば押しボタン式信号機をつけてほしい。	横断歩道については、平成29年12月に設置しました。押しボタン信号機については、3月上旬に設置済みです。	環境防犯課 交通防犯担当 74-8068
16	柳田	学童保育	学童保育について 高齢化で支援員が不足しているので何とかしてほしい。	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度に伴い、学童保育の受入が小学6年生まで拡充され、更には市内のクラブ数が増加したこと等により、支援員不足が生じてきていると思われまます。支援員の皆様にはご苦勞をおかけします。 市では子育て支援に関心のある方を対象とした講座も行っておりますので、ご協力いただける方は、ぜひ参加していただきたいと思っています。	子育て支援課 子育て応援担当 74-8117

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
17	柳田	西条畑地かんがい	1 柳田、窪、島尾、高岡市太田伊勢領の畑作地に小矢部川から水を送水している管は、石綿管で老朽化がひどく設置されてから約60年も経過しているためか時々管が破裂し送水ができなくなるほか修理代も相当な額になっている。畑作を継続していくためには、送水管の取り替え工事が必要とされ莫大な事業費が予想される。	1 ハード対策としては、県営事業として実施していただけのように要望しているところであります。早期に事業採択していただきけるよう引き続き要望してまいります。	ふるさと整備課 農林業基盤整備担当 30-7011
18	柳田	西条畑地かんがい	2 受益者の負担を軽減する方策を検討する一方、畑作を継続してゆく後継者の確保等の課題がある。西条畑かんが抱えるこのような課題について、市としての指針を示していただければ幸いです。	2 西条地区の営農展望の方向性については、地元の農業者と検討を行い、西条畑地かんがい土地改良区の会長、役員と富山県高岡農林振興センターに説明をしました。今後は、地区の方々への営農展望や工事についてのご理解が必要であります。	農林畜産課 農業振興担当 74-8086
19	柳田	十二町潟排水機場	平成29年7月初旬の集中豪雨の際、柳田地区を流れている市の河川である園川が満水となり、あっという間に濁流水が付近の水田に流れ込み、水田が湖のような状況になりました。以前から園川の改修工事、十二町潟排水機場の能力アップを要望し続けています。国、県等の関係機関と協議をしておられると思いますが、見通しはどうか。毎年同じことを繰り返している現況をふまえ、早急に対応されたい。	十二町潟排水機場は、10年に1回の想定で起きると思われる豪雨の雨量で農地に30cmの24時間湛水を許容した計画となっています。ただ近年の山間地開発や市街地開発、更には異常気象などで流水形態が大きく変化しており、農地の湛水区域も拡大しているものと思われまます。 浸水対策については、毎年改修工事を実施していますが、園川や排水機場の改修だけではなく、流末を同じくする堀田川や神代川についても併せて検討する必要があり、そのためそれら河川を管理する県とともに総合的に対策を検討していきたいと考えています。	ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071
20	柳田	下水道	都市計画道路関連で公共下水道の整備の進捗に感謝しております。都市計画道路と柳田島尾線までのエリアが対象区域とされていますが、その区域内で自然流下できない箇所が対象外とされ、前の市長さんに公平な取り組みをお願いしてエリアに組み入れる約束までになっているところですが、住民の切なる要望にこたえていただきたい。	市道島尾柳田線までの下水道の整備については、下水道区域拡大の認可が必要であり、今年度は認可申請に向けて作業を進めています。工事は、認可された後の30年8月以降に着手予定です。	上下水道課 下水道経営企画担当 74-8207

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
21	柳田	都市計画	<p>人口減少は、未婚率、初婚年齢の上昇が要因と分析されていますが、もう1つ大きな観点は、人口の市外への流出であると言われていました。なぜ流出するのか、氷見には魅力はないのか、柳田地区で昨年若い世代の方々と意見交換し柳田地区の運営に反映させようとの試みがありました。様々な意見が出ましたが、若い世代の出会いの機会を増やす事が必要との意見があったほか、柳田地区で家を建てようとする、農振除外の手続きに時間がかかりすぎるため、市外への流出につながっているのではないかと意見もありました。昭和51年以降見直しされていない用途地域の見直しを検討すべき段階にきているのではないかとという見方もできます。市の考えをお伺いしたい。</p>	<p>平成29年度から30年度にかけて、氷見市における土地利用方針を含む都市計画の基本的な整備方針を定めた都市計画マスタープランの改定作業を行っています。</p> <p>窪・柳田地区の畑地における土地利用方針等についても、この都市計画マスタープランの中で検討してまいります。</p>	都市計画課 都市政策担当 74-8078
22	柳田	雇用促進住宅	<p>2021年度までに廃止が決まっているといわれている雇用促進住宅は、柳田地区に2ヶ所ある。雇用促進住宅を管理運営する高齢・障害・求職者雇用支援機構は、市町村に譲渡した残りを今年6月に一括東日本民間賃貸サービスに売却したとのことである。</p> <p>今後、ビレッジハウスとして入居者をハローワーク経由の入居者だけでなく学生、留学生、高齢者や生活保護受給者も積極的に受け入れるとしている。柳田の2ヶ所について、市は東日本民間賃貸サービスと何らかの接触・協議をしているのかお伺いしたい。</p>	<p>東日本民間賃貸サービス合同会社から、国土利用計画法に基づいて「土地売買等届出書」が市を経由して県へ提出されました。</p> <p>また、この10月に所有者変更に伴う建物名称変更について、11月から「雇用促進住宅柳田宿舎」は「ビレッジハウス柳田」に、「雇用促進住宅柳田第二宿舎」は「ビレッジハウス柳田第二」に変更になるとの案内は受けておりますが、協議などは受けていません。</p>	都市計画課 都市政策担当 74-8078
23	柳田	信号機	<p>都市計画道路氷見伏木線より海岸側の窪、柳田地内にこの道路を横断しないと通学できない窪小児童が50名余います。新たな道路は、車にとっては利便性の高いものですが、通学のためにこの道路を横断する児童にとっては極めて危険です。道路幅9m、制限速度50km/hのこの付近に押しボタン信号機が必要であります。早期に設置されるよう取り計らってほしい。</p>	<p>押しボタン信号機については、3月上旬に設置済みです。</p>	環境防犯課 交通防犯担当 74-8068

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
24	柳田	市道認定	<p>都市計画道路全線開通により交通量も増加している柳田地区、その都市計画道路と市道島尾柳田線をむすぶ、全長255mの道路(宮下孝明宅より丸山博幸宅までの間)が、農道の取り扱いのままになっている。</p> <p>都市計画道路と島尾柳田線をむすぶ他の道路は、当該農道と同じ道路幅にもかかわらず、市道とされている。</p> <p>平成26年に市道認定を出したところ道路側溝が無いとの理由で却下されました。当該農道には公共下水道も入り一部には宅地分譲計画が不動産業者により進められている現状をふまえ、早急に市道に認定されたい。</p>	<p>平成26年度から市道の認定基準が変更となっており、それ以前に市道認定を受けたものについては、4m未満でも市道となっているものがあります。</p> <p>しかし、現在の認定基準では、道路幅員が4m以上となっていることから、側溝等が整備されていることなどの要件を全て満たしていることが条件となっています。</p> <p>当該道路につきましては、現地を確認しましたが幅員及び側溝の認定基準を満たしていないことから、市道認定を行うのは難しいものと思われまます。</p>	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p>
25	柳田	排水路	柳田4組と5組との境の排水路の管理について(JR氷見線付近)	JR氷見線を横断する手前の排水路の暗渠出口がゴミでふさがれていましたので、取り除きました。しばらく経過の観察をお願いします。	<p>ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071</p>
26	柳田	排水路	元池永生コン付近の用排水路の整備について	用地の取得が可能ならば、水路の付替えや、無理な場合は断面を大きくするなどの検討を行ってまいります。	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p>
27	柳田	空き地活用	柳田企業団地の空き地活用について	柳田工業団地については、民間の所有地でありまます。解散した会社名義の土地などがあり、現在、活用されていない敷地がほとんどではありますが、この団地に進出を希望する企業からの問い合わせがあれば所有者等関係者に相談します。	<p>商工観光課 商工企業誘致担当 74-8105</p>
28	柳田	浸水対策	豪雨時に、田んぼに雨水が溜まりすぎると、付近の道路が水浸しになる。(元広瀬木材付近の水田)	平成30年度に調査を行い、浸水対策の検討を行います。	<p>ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071</p>